

ISHIKAWA
トラックのひろば

VOL.186

1

JANUARY

ISHIKAWA TRUCKING ASSOCIATION NEWSLETTER

謹賀新年



年頭のごあいさつ

一般社団法人 石川県トラック協会
会長 谷本 義治

新年あけましておめでとうございます。

会員事業者の皆様をはじめ、関係各位におかれましては、つつがなく新春をお迎えになられたことと心よりお慶び申し上げます。

また、日頃から協会の運営につきまして、ご支援とご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

昨年は、県民の長年の悲願であった北陸新幹線金沢開業が実現し、また、輪島市が舞台となったNHK連続テレビ小説「まれ」との相乗効果もあり、首都圏を中心とする観光客が多数訪れるなど、石川県は空前の活況を見せました。

そのような中、10月1日に石川県立音楽堂において、全国各地から約1,400名余の会員事業者が参加のもと、第20回全国トラック運送事業者大会が開催されました。

大会では、山積する諸課題の解決に向けて一致結束するとともに、懇親会で披露された素囃子や御陣乗太鼓をはじめとする石川県の伝統芸能が、参加者の喝采を博するなど、日本の伝統文化が美しく息づくこの地の魅力を発信することもできました。大会が成功裏に終了できましたのも、会員の皆様をはじめ関係各位の力添えの賜物です。

さて、日本経済は、訪日外国人による消費効果などにより国内消費が堅調に推移する中、原油安によるコスト低減を背景に企業業績の改善が見られるなど緩やかな回復を続けていましたが、中国を中心とした新興国や資源国の景気減速の動きが強まり、今後、景気回復の遅れが懸念されています。

一方、我々トラック運送業界におきましては、自動車関係諸税、高速道路料金の過重な負担に加え、若年層を中心とする労働力不足が引き続き深刻な状況にあるため、燃料価格が下落しても営業利益の改善効果が得られないなど厳しい経営を強いられました。

このようなことから、当協会では若者をはじめとした多様な人材を呼び込むために、テレビやインターネットなどを活用したPR事業を積極的に展開し、雇用促進を図るとともに、即戦力となる人材の確保に向け、退職自衛官の再就職について新たに協会が会員事業者の求人票をとりまとめ、自衛隊地方協力本部等へ提出する新たな枠組みを設けました。

また、労働力不足の一因でもある長時間労働の抑制に向けた環境整備のために、8月に「トラック輸送における取引環境・労働時間改善地方協議会」を立ち上げ、行政、荷主、トラック運送事業者など関係者が一体となった取り組みを推進しているところで

あります。

本年もドライバーの総労働時間の削減、手待ち時間や付帯作業の有料化など労働環境の改善を最重要課題に、精力的に取り組む所存であります。

このほか、会員の皆様の経営安定化に向け原価意識向上のためのセミナーなど適正運賃収受に向けた取り組みを推進するとともに、「軽油引取税の旧暫定税率の廃止」や「高速道路料金における大口・多頻度割引の恒久化」などの実現を確かなものとするため、県選出国会議員に対して要望活動を行ったほか、11月には「地域社会と国民生活を守るため 平成27年度トラック業界の要望を実現する会」において、自民党トラック輸送振興議員連盟、公明党トラック問題懇話会所属の国会議員に強く要求しました。

その結果、最大の課題でありました高速道路料金最大割引50%の継続問題は、平成28年度予算において1年間延長されることとなりました。

これら諸課題に加え、常に最優先課題として位置付けられている交通事故防止対策など、業界を取り巻く大変難しい問題が山積しておりますが、今後も国民生活や産業活動を支える公的物流サービスの担い手としての重要な使命を果たしていくためにも、関係各位のご理解とご指導のもと、迅速かつ的確に対処していく所存であります。

本年も魅力ある業界づくりを念頭に、従来にも増して会員の皆様に頼りとされる協会になるよう役員、事務局全員一丸となつて

取り組んで参りますので、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに皆様のご健勝とご多幸を心より祈念し、年頭のご挨拶とします。



経営者の皆様へ

～新しい年のスタートにあたって～

新年あけましておめでとうございます。今年も私どもにおける事業者に対する巡回指導や安全性評価事業（Gマーク制度）をはじめとする事業適正化活動について、ご理解とご協力いただきませうようお願い申し上げます。

さて、トラック運送事業にとつて、安全は何よりも大事なことで、交通事故防止だけではなく、輸送の安全・安心が確保されな



ればいけません。昨今、経営者の姿勢、企業体質、従業員の資質、意識、教育のあり方等々いろんな問題が指摘されていますが、安全管理は経営者の責務であります。

そこで、経営者の皆さんに新しい年のスタートにあたり、輸送の安全に関する必要な次の取り組みについてお願いしたいと思います。

次ページの①～⑦までの取り組みは「運輸安全マネジメントシステム」であります。決して難しく考える必要がないものなので、安全の前提条件である法令を遵守す

ることは勿論のこと、事故のない安全な職場づくりのために確実な実施をお願いします。

終わりに、経営者の皆さんを筆頭に従業員全員がそれぞれの立場と役割を十分に果たして無事故の良い年になりますようお祈りいたします。



運輸安全マネジメントシステム

- ① 新年にあたって経営者の皆さんは全従業員に対して、今年はどうするという「事故防止のための意思表示」をしてください。
- ② その決意を裏付けるために、事故防止のための「安全方針」（例：輸送の安全はわが社の根幹）と「安全目標」（例：人身事故ゼロ）を設定してください。
- ③ そして、すべての役員と管理者に対して、方針と目標を達成するために自社の実情に応じた取り組みを作成させて、それを「安全計画」（例：実践項目・短期・長期計画など）にしてまとめてください。
- ④ 以上の「決意・方針・目標・計画」を最も効果的な方法で全従業員に周知徹底するための手段として当協会から配布しました「情報公開用ボード」を有効に活用してください。
- ⑤ これらの活動を進める過程では、安全会議などを開いてください。現場の従業員と意見交換をして、安全上の問題点や反省すべき点がないか考えてください。
- ⑥ そして、現場の従業員が参加する輸送の安全に関する活動として、例えば「エコドライブの励行」や「危険予知トレーニング」などに取り組んでください。
- ⑦ ある一定の期間がたったら、これらの安全活動がうまく機能しているかどうかチェック（評価）してください。そして、安全上の問題点があった場合は業務の改善を行い今後の目標や計画に反映してください。



◆事業適正化やGマークなどについて、
ご気軽にご相談下さい。
(TEL 076-239-2285)

石川県貨物自動車運送 適正化事業実施機関

担当部長 天田 敏勝	指導員 脇方 善行
課長 奥村 和秀	同上 春田 修一
係長 岡村 諭	同上 外川慎太郎



運輸安全マネジメント
情報公開用ボードを
活用しましょう

頌春

新年を迎え 平素のご厚情に深謝し
 皆様のご多幸をお祈り申し上げます
 会員各社 益々のご発展をご祈念申し上げます

平成二十八年 元旦

一般社団法人 石川県トラック協会役員一同



会長・代表理事	谷本 義治	理事	山本 隆
専務理事	北村 誠	理事	桐畑 剛
業務執行理事	田内満喜夫	理事	山下 洋介
副会長・理事	久安 常信	理事	稲岡 利男
	山田 秀一	理事	小林 茂成
	小前田 彰	理事	木下 義隆
	上田 真	理事	新出 勝
	谷口 直人	理事	阿知 克明
	東出 友明	理事	高橋 満
	鈴木 勝範	理事	藤井 耕三
	小松 康作	理事	山本 孝司
	斉藤 俊夫	理事	

事務局 局長	天田 敏勝
(総務課) 課長	堀 貴志
課長補佐	中沢 薫
経理係	夷藤 美幸
陸防係	石田 美幸
陸防係	森下 務
金沢TS係	角地 義盛
(適正化事業課) 課長	塩崎 昭三
係長	奥村 和秀
指導員	岡村 諭
	脇方 善行
	春田 修一
	外川 慎太郎

